

(別記)

## 令和2年度道志村農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約50%で、戦略作物に占める大豆、そばの面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。

そのほか、麦、大豆については、排水不良、土壌酸度の不適正等により単収の低下を招いており、是正が必要になっている。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

現状ほぼ100%自家消費しており、市場には出回っていない。今後も作付面積の減少を防ぐため、用排水路等の整備を行う。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、地元の実需者の需給を考慮し導入を検討する。

##### イ 米粉用米

飼料用米と同様、地元の実需者の需要を考慮し導入を検討する。

##### ウ 新市場開拓用米

##### エ WCS用稲

##### オ 加工用米

##### カ 備蓄米

#### (3) 麦、大豆、飼料作物

現行の排水良好水田(約140ha)においては、弾丸暗渠等による排水対策に取り組みながら、5年後においても、現行の麦・大豆の作付面積を維持する。

#### (4) そば、なたね

(5) 高収益作物（園芸作物等）

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(6) 畑地化の推進

**3 作物ごとの作付予定面積**

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	10.19	9.00	10.20
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆	4.94	5.00	5.00
飼料作物			
そば	1.02	1.37	1.30
なたね			
その他地域振興作物	5.75	6.68	6.68
野菜	5.74	6.67	6.67
花き・花木	0.01	0.01	0.01
・			
・			

**4 課題解決に向けた取組及び目標**

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
				(○年度)	(○年度)
				(○年度)	(○年度)

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 5 産地交付金の活用方法の明細

なし